



Contents

会長室から、こんど～です

経営まめ知識

いまさら聞けない相続税の仕組みシリーズ

1

2020
Vol.194

たいせい通信のメール配信をいたします。
ご希望される方は、下記のメールアドレスに、件名を【たいせい通信メール配信希望】とし、
お名前、会社名、電話番号を明記の上、送信ください。

info@taiseikeiei.co.jp



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成財産コンサルタンツ・・・相続相談・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険 <http://www.fzc-souzoku.com>
(九州相続センター) 不動産・営業支援代理店業
- ◆エルアコンサルティング(株)・・・生命保険、損害保険 <https://elaa.co.jp>
- ◆(株)大成アフェクション・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・商社、貿易業務

■大成経営総合事務所

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・浦野税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・いしはら社会保険労務士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

(株)大成経営開発 統括室発行 Tel : 096-377-1101 Fax : 096-377-1114

会長室から、こんど~です

新年あけましておめでとうございます。

2020年令和2年【東京オリンピックの年】とても楽しみです。

皆様にとっても今年一年良い年でありますようにお祈りいたします。

例年通り元日はニューイヤー駅伝、2日~3日は箱根駅伝です。毎年これで大いに盛り上がっています。

先日愛犬をドッグランに連れて行った帰りに、高齢者ドライバーによる交通事故に遭遇しました。

まだ衝突したばかりで軽自動車と普通乗用車が交差点の真ん中でお互いにぺっちゃんこになっていました。

まぐまぐニュースで相次ぐ高齢者ドライバーの暴走事故というのを読んだばかりでしたので「ああ、またか」と心傷めておりました。

今回は毎日読んでいる「まぐまぐニュース」の記事をご紹介します。

最近、高齢者ドライバーによる事故が相次ぎ、大きな問題になっています。特に2019年には、87歳の男性（元通産省の官僚）ドライバーが、東池袋で自動車が赤信号を無視して横断歩道に突っ込んだ結果、2人が死亡、運転手を含む十人が負傷したという事故を起こしました。

内閣府が発行する「令和元年版交通安全白書」によると、平成22年に、初めて高齢者の交通事故死者数の全交通事故死者数に占める割合が50%を超えて以来、増え続けているそうです。

この背景には、少子高齢化もありますが、同時に高齢者ドライバーの事故率の高さがあります。平成30年中における免許人口10万人当たり死亡事故件数を年齢層別に見ると、75歳以上の高齢運転者については75歳未満の年齢層に比べて約2.4倍となっています。

高齢者ドライバー対策として、平成10年には、運転免許証の更新期間が満了する日における年齢が75歳以上の者に対して、運転免許証の更新時に高齢者講習が義務付けられ、さらに平成14年にその年齢が70歳に引き下げられました。この仕組みをもっと厳しくして、高齢者から運転免許を取り上げれば良いと主張する人もいますが、そうはいかない事情があります。少子高齢化と首都圏への人口集中の結果生じた地方の高齢化と過疎化です。

◆免許返納は「机上の空論」

少子高齢化と労働人口の首都圏への移動の結果、日本の多くの地方都市は、急速な高齢化と過疎化に悩まされています。その結果、利用者の減少やドライバー不足を理由に、ローカル線は廃業に追い込まれ、バス会社も赤字経営で、辛うじて地方自治体からの補助金で営業を続けているという状況です。つまり、交通インフラが崩壊しつつあるのです。そんな地方都市では、自動車は、高齢者にとって病院や買い物に行くために必要な道具であり、免許証を返上など出来ないのです。

高齢者が起こす事故の中でよくあるのが、オートマ車におけるブレーキとアクセルの踏み間違いです。特に最近の車は、構造上ペダルの位置が昔の車よりも左寄りにあるため、高齢者が慌ててブレーキを踏もうとした時にアクセルを踏んで逆に加速してしまう、という事故が後を絶ちません。そんな事故を防ぐために、「踏み間違い加速抑制システム」という後付けの安全装置も作られていますが、まだまだ普及はしていません。

実は私は今年免許更新をすっかり忘れていて、お知らせのハガキが来てびっくりしました。

今年で61歳になり、まだ紅葉マークは不要ですが注意して安全運転をします。

ありがとうございます



(株)大成経営開発会長 近藤記

経営まめ知識：『仕事のやる気が起きない』

あけましておめでとうございます！
本年もどうぞよろしくお願いいたします！

年末年始のお休みはいかがでしたでしょうか？
毎日ゆっくりしていた人もいれば、仕事をしていた人もいるのではないのでしょうか？
今年は天気も快晴だったため、初日の出を見れた人も多いのではないかと思います。

多くの人(私を含む)が、休みボケして仕事モードになかなかスイッチが切り替わらないと悩んでいませんか？
そこで、**仕事モードに切り替えていいスタートをきるためにお薦めの仕事の始め方**がありますので今月はそれを紹介します。

①作業ベースの仕事から始める

朝一番にその日のタスクを書き出し、**その中であまり何も考えなくていい作業ベースの仕事から始める**。これを1~2時間もくもくとやり続けるようにすると仕事も片付くしスッキリします。それをやるうちに頭と体がもとの状態に戻ると思います。

②場所を変える

いつも働いている場所を出て**外で仕事**をすれば、環境を変えることができ気持ちもモチベーションも変わります。ここに行く时必须仕事をするという場所を作っておくと便利かもしれません。

③連休最終日から仕事を始める

今回の連休でいくと5日(日)から仕事を始めるということです。ただし、世の中の働き方改革には逆行していますが……。前日から始めることによって仕事のペースを取り戻すことができます。けっこう多くの人がやっているのではないのでしょうか？ぜひ一度、次回大型連休があった場合は挑戦してみてください。挑戦してみて、**自分にあっているかあっていないのか判断**すればいいかと思います。

④早く出社して早く帰社する

忙しい日々の中で、仕事を休むことは難しいかと思います。周囲にも迷惑がかかりますし、休んだ分だけ仕事が滞ってしまいます。しかし、それは同時に自分が自由に休みを取れないほど、義務や責任を背負いこみ過ぎているということでもあります。キャパシティに余裕がない状態ですので大きな間違いをする可能性も高くなります。ですので頭が**フレッシュな早朝に出社**し、作業ベースの仕事で体を慣らし、**頭も体も疲れてくる夕方以降は早く帰社**して、翌日に備えリフレッシュした方がいいかと思います。

以上がお薦めの仕事モード切り替え法になります！
今年も最高の仕事とプライベートにしましょう！





いまさら聞けない相続税の仕組シリーズ

「取引のない銀行とのお付き合い」

新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて、令和2年の最初は、現在、取引のない銀行とお付き合いする方法です。顧問先の経営者とお話していると、新たに取引のない銀行とお付き合いをしたいと考えられている方が、結構多くいらっしゃる事が分かります。なぜ、新たな銀行との取引をしたいと思うか？

- 今の銀行の対応が、自分に合っていないように思う。
- 利率などの条件が良くなりそう。
- 借入金が集中していると急に対応が厳しくなる事がありそう。

などがあります。確かに、新規で銀行を開拓する事は重要であると思います。

しかし、「すぐにお金を貸してくれるか？」と言えば困難で、直接窓口に行けば警戒されるケースも多いかと思えます。「資金繰りに困ったから来たんじゃ」とみなされてしまうケースです。

新規銀行への説明は？

- 財務状況(直近の決算書や試算表)
- 新規に取引を申込みをした経緯
- 他の銀行との取引状況
- 関連会社がある場合には、設立理由、事業内容、財務状況
同族間の資金のやりとり。

そして、今後の経営戦略やその為の計画書などがあれば良いでしょう。

銀行が取引したい会社とアピールする。それは、自社を把握し成長性の高い会社である事。

- 顧客ニーズ
- 会社の強み
- 他社との差別化
- 積極的な商品開発
- 人、もの、情報への投資

成長性を測る財務指標として

- 売上高増加率
- 経常利益増加率
- 総資本増加率

近年の金融情勢が大きく変化する時代にとって、複数の銀行と上手に取引する事は重要な事だと思います。また、税理士さん等、会社の事が分かってくれていて、銀行の支店長や担当者を知っているという方からのご紹介は、開拓する良いきっかけとなるはずです。

 岡村 泰



編集後記：新年明けましておめでとうございます。本年もたいせい通信をよろしくお願いいたします。年末年始もあっという間に過ぎましたが、天候も穏やかだったので過ごしやすかったように思います。これから繁忙期に入りますので、気を引き締めて乗り切っていきたいと考えております。さぁ張り切って2020年を過ごしていきましょう！